



DEN

No.25

2020.2.28
発行

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



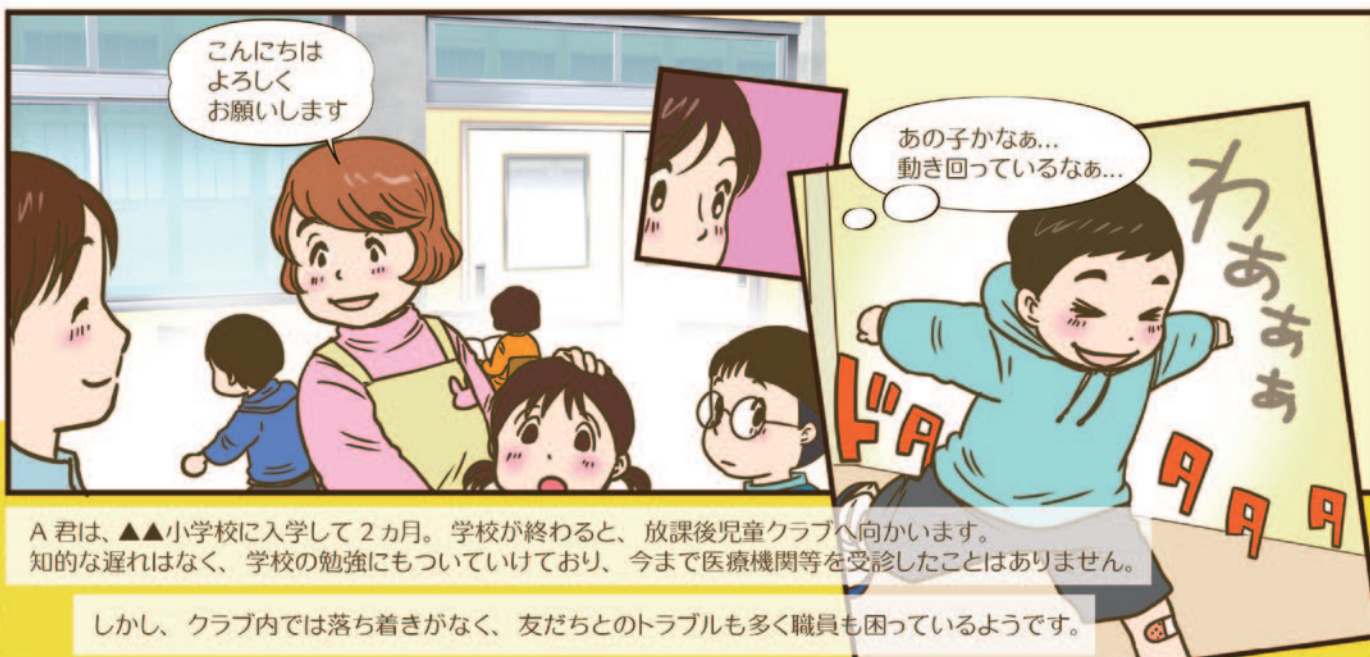
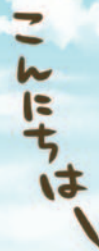
心豊かに作業療法

CONTENTS - テーマ:発達障害児の就学支援 -

- 1 まんが作業療法物語
地域生活を支える作業療法～学童編～
- 6 教えて! 作業療法
「子どもの行動を理解し、適応力を育てよう!」
- 7 支部紹介
●豊肥支部 ●西部支部 ●東部支部
- 9 施設紹介: こんな所に作業療法士
●発達障害専門学習塾 marble
●NPO法人 元気・なかま 犬飼ふれあいセンター
- 11 トピックス
「いろんな場面で子どもたちの成長をサポートしています!」
- 12 以心 DEN 心
- 13 活動報告

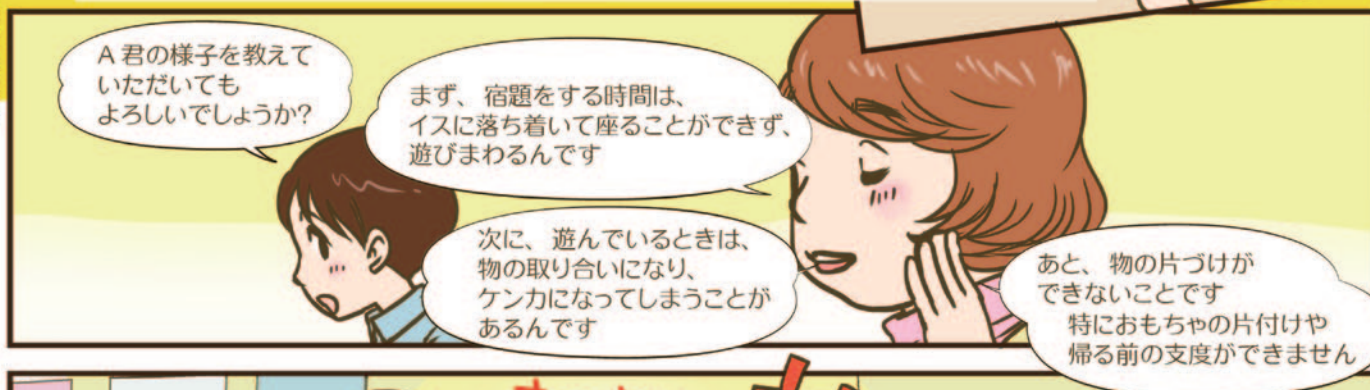
地域生活を支える作業療法～学童編～

放課後児童クラブの職員から、関わり方の難しい子どもがいるため、関わり方を教えてほしいと依頼がありました。(A君の保護者からの了承も得ています。)



A 君は、▲▲小学校に入学して2ヵ月。学校が終わると、放課後児童クラブへ向かいます。知的な遅れはなく、学校の勉強にもついていけており、今まで医療機関等を受診したことはありません。

しかし、クラブ内では落ち着きがなく、友だちとのトラブルも多く職員も困っているようです。



療子は A 君が放課後児童クラブでどのように過ごしているか、その様子を観察しました。



目の前でおもちゃが広げられたため A 君は、
宿題の途中で気になってしまい、机の上に
ドリルや筆箱を散らかしたままおもちゃに駆け寄りました。



放課後児童クラブで療子は、まず教室内を用途によって区切ることを提案しました。

このロッカーを部屋の中央に並べて、遊びと勉強の空間を分けてみましょう

周りが気になって集中できないお子さんには良いと思います

イスの高さは、A君の足がしっかり床についている方が、集中できます
それでも集中しにくければ、机の間についたてを置くことで、周りの刺激は減らせると思います

そうなんですね!!
机とイスは倉庫にあるのでそれを使います
仕切りになるものがないか探してみますね

次は、時間割やルールを設け、それを「見える化」することでA君の「片付けができないこと」、「宿題を集中してできないこと」に対し支援方法を提案しました。

職員の声かけ以外にもスケジュール表を作り、それをA君が見えるところに貼りましょう

Aくんのスケジュール
〇月〇日

計算	午後 03:30
プリント	午後 04:15
漢字	午後 04:30
ドリル	午後 05:00
自由	午後 05:00
あそび	午後 06:15

そうすることで今何をすべき時間なのか、目と耳で認識でき、A君は見通しを持って宿題に取り組めると思いますよ

おもちゃでいつまで遊んで良いか分かるように、貸出表を作りタイマーで片付けを知らせましょう
透明な収納ボックスをいくつか用意いただけますか?

収納ボックスは準備できます

どこへ何を片付ければ良いか分かるようにボックスの側面に表記して棚に収納すれば、おもちゃ箱をひっくり返さなくても探すことができます

おもちゃ貸出し表

お片付けの時間ですよー

後日、療子は再び、放課後児童クラブに訪問しました。



その後、A君の
ご様子はどうですか？

A君だけでなく
なかなか宿題に取り組めない
子どもたちに仕切りをしました

そうしたら、多くの子どもが
集中して宿題に取り組んでいます
また「見える化」のおかげで、
A君はスケジュールを守り、
宿題と遊ぶ時間の
切り替えが上手にでき、
片付けも声かけとタイマーで
スムーズにできています

お母さんにもお伝えし、
家でも取り入れてくれている
みたいです

療子は、A君のお母さんが迎えに来た場面に立ち会いました。



家での様子は
どうですか？



クラブでの変化を見て、
家でも実践してみたら、
宿題への取り組みや
片付けがとっても
上手になったんですよ

他に困まりな
点はござい
ませんか？



学校ではお友だちとの
遊びの中でルールを守れず
ケンカになる
場面があるみたいで…

「勝ち」へのこだわりも強いようで、
それもケンカの原因だと思います

トランプやオセロなど
お家でしてください



トランプやオセロは
ルール性のあるゲームです

お母さんが負けたときに、
「お母さん負けて悔しいけど
A君とのトランプたのしかった
次は負けないぞ」と

ルールを守って遊ぶことが
楽しいということを
A君に学んでもらいましょう

勝敗を記録に付け、
総合的に勝っているという
安心感の中で、

負けを経験すると
比較的受け入れやすい
かもしれません

ステップを踏んで、
少しずつ成長を
促していきましょう

わかりました
家族で一度トランプを
してみたいと思います

数カ月後…

あれから、トランプが
家族の日課になっています

まだ勝ちに対する
こだわりはありますが、この前、
私に勝ちを譲ってくれたんです

驚いたのとうれしくて、
私、思わず泣いてしまって

息子が「ママ勝ってそんなに
うれしいの？」っていうから、
「あなたの成長がうれしいの」
と抱きしめました

A君、これからも
素敵な男の子に
成長していきますよ
とても楽しみです

作業療法士は、子どもたち一人ひとりに直接的に関わるだけではなく、
その子の得意・不得意（特性）に合わせて環境を整えることで、子どもたちが持っている力を最大限発揮でき、
スクスクと地域で成長できるようサポートします。

おわり

教えて！ 作業療法

子どもの行動を理解し、 適応力を育てよう！

子どもたちが日ごろの生活の中で出している SOS の一部に対して、原因と対策を紹介します。作業療法士は、学校や放課後児童クラブなどに直接訪問し、行動の原因を探り、適切な環境調整や関わり方のご提案をしています。

落ち着きがない

(授業中に歩き回ったり、椅子をガタガタ動かしてしまう子はいませんか？)

原因

- 見たものや体の傾きに関する情報が上手く感じ取れないため、強い刺激を求めて動き回り、結果的に落ち着きのなさにつながっている可能性があります。



対策

- プリントなどを配る・集めるなどの役割を与え、授業中でも動ける機会を作りましょう！
- 周りからの刺激を減らす環境づくりをしましょう！(席を1番前にするなど)

音へのこだわり

(運動会のピストルや音楽会など、特定の音を極端に嫌がる子はいませんか？)

原因

- 外から入る音刺激に対して、体が防衛反応をとっている可能性があります。
- 予測できない音や響く音に反応する子もいます。



対策

- 一度苦手な音について話し合ってみましょう！
- 調整できるものは音量や音の種類を工夫してみましょう！
- どうしても調整できない場合は、どのような音がいつ鳴るのかを教えることも必要です。

集中力がない

(色々な音やものが気になり、キョロキョロしてしまう子はいませんか？)

原因

- 見たもの・聞いたことを次々と受け取ってしまい、必要のない情報を遮断することができない可能性があります。



対策

- 教室の掲示物や座席の位置を工夫し、気を引くものが目に入らないように環境を調整しましょう！
- 机の上を片付け、整理しましょう！
- 大切なことを伝えるときには静かな場所で、いくつ伝えるかを事前に話しておくのも良いでしょう。

場にそぐわない行動

(授業中に自分の話したいことを突然しゃべり始める子はいませんか？)

原因

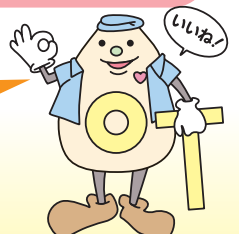
- 周囲の状況を見ながら、今何をすべきか判断することが難しい可能性があります。



対策

- 今何をする時間なのかを伝え、具体的な行動を示しましょう！
- 発言の際には手を挙げるなど、ルールを作ってみましょう！

今回紹介した子どもたちの行動には必ず意味があるよ。
まずは子どもたちの行動の裏にある背景を考えてみよう！





支部紹介

豊肥支部

豊肥支部は南西部に位置し、大野と竹田地域の協会員84名(令和元年度)で構成しています。支部を再編する前の大野支部から豊後大野市の「ふるさとまつり」に毎年参加しており、今年度で7回目となりました。

当初は屋外テントで、うちわ作りを中心として作業療法の啓発・普及活動を実施していました。最近、豊後大野市役所の健康推進課の声かけにより、保健所職員や栄養士会の方々と共に「健康」をテーマとする体力測定やめじろん元気アップ体操の指導、健康相談も実施するようになりました。

なにより、「今年もきました」「今回はここでしているんですね」など、挨拶をしてくれる顔見知りの方が増えたことや、体力測定の結果を見て「よかった、前回よりも良くなった。」と意欲的に参加している方が多くなっており、本事業が定着しつつあるという実感にもつながりました。

本事業に携わる事で継続した取り組みの重要性を改めて感じました。これからも「健康や生活に関わる専門職」として、地域での認識が高められるよう、積極的に取り組んでいこうと思います。



西部支部

西部支部は日田市と玖珠町・九重町を併せた地域で、所属施設は17施設・支部員数は54名です。

支部活動としては、支部連絡交流会、新入会員歓迎会(POS合同)、作業療法フェスタ、事例検討会などを実施しております。新入会員歓迎会はPOS合同で行うことにより、他のリハ職との情報交換ができる機会を持ち、連携を取りやすい関係作りの構築も行っています。また、作業療法フェスタでは、健康福祉祭りに出展し、プラ板作りを通じて地域の方々との交流を図りながら作業療法の啓発活動を行っています。会員も多くの施設より協力を募り、会員間の交流を図



大分県作業療法協会は、県内を9支部に分け、それぞれの支部で事例検討会等を行ったり、地域のイベント等に参加し、作業療法体験や相談会を行っています。
今回は、豊肥支部、西部支部、東部支部の活動を紹介します。

る機会にも活用しています。その他に介護認定審査会や障害分野の認定審査会、地域ケア会議の助言者の選出もしております。

西部支部独自の活動としては、日楽灯会（脳疾患患者と家族の会）への参加や日田リハビリサミットの開催・協力なども行っています。当事者の方と一緒に活動をしながらコミュニケーションを図ることで、色々な経験をさせていただく機会があります。皆さんとの交流や経験を踏まえて、作業療法の視点をより深められる良い機会ともなっています。

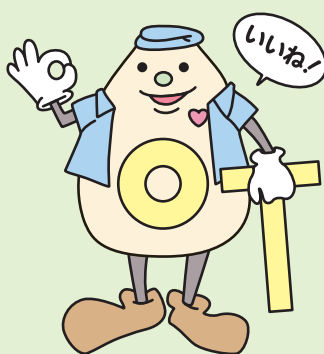


東部支部

東部支部は国東市、杵築市、日出町、別府市に位置し、会員数は183名（施設数：46）と最も多い支部です。主な活動は、懇親会 & 新入会員歓迎会、連絡交流会、事例検討会があります。また『日出町の城下カレイ祭り』、『国東市の夢咲き、くにさき、ふるさと祭り』に参加しミニフェスタを開催し、子どもから高齢者まで多くの方に参加頂いています。

その他に、支部企画の研修会を行なっています。主に若い会員を対象に、実技やグループワークを含めたより実践的な内容で、これまでに『移乗』、『認知症』、『生活プラン提案』などを行ないました。

楽しく学び・活動できる支部を目標に研修などを企画していきたいと思いますので、参加、お待ちしております。



マールブル 発達障害専門学習塾 marble

所在地：大分市三佐1丁目20-25

TEL 097-578-7622

契約者数：45名

職員体制：作業療法士1名、
講師(教員免許取得者3名、大学生7名、他1名)

法人理念

0歳から100歳までの障がい者の一生を支える社会環境を作る

関連施設

こどもデイサービス 夢色(障害児通所支援事業所)

ソーシャルアーチ(障害者就労継続支援事業所)

施設紹介

marble は福祉制度下のサービスではなく、自費サービスによる一般事業です。発達障害のあるお子さんをサポートする福祉サービスには、児童福祉法を根拠とする「障害児通所支援事業」があり、弊社も放課後等デイサービス事業所(以下、事業所)などを運営しています。しかし、「福祉」という制度のもとで行うサービスには大きな課題が存在します。それは、ご家族や子ども自身の「障害の受け入れ」の問題です。放課後等デイサービスは、身体障害者手帳や療育手帳がなくても利用が可能です。しかし、ご家族の中には「ウチの子に障害はない。」という強い思いから、幼少期に家族だけで課題を背負いこんでしまう方がいます。また、普通小学校に通う子どもの中には「事業所に行っていることを知られたくない。変な人だと思われる。」と口にする子もいます。学年が上がるにつれ、友達と自分の違いや、周囲との関係性に悩みを抱えたお子さんは次第に福祉サービスから足が遠のいていきます。この様に「障害の受け入れ」が困難なことにより、適切なサポートを受けることができず、地域で孤立するケースは少なくありません。だからこそ、地域の中に「福祉」という受皿のみではなく、『学習塾』という教育の場を受皿として作り、発達の遅れや障害のある子どもたちに対して継続した学習サポートを提供することを目指しています。



施設外観



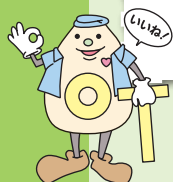
作業療法士とスタッフとのミーティング風景



壁面ホワイトボードを使っている授業風景



小学校高学年クラスの授業風景



NPO法人 元気・なかま 犬飼ふれあいセンター (ふれあい児童館・放課後児童クラブ・介護予防拠点)

所在地：豊後大野市犬飼町下津尾3883-1
TEL 097-578-5255 FAX 097-578-5255

施設利用：ふれあい児童館 (48名)
放課後児童クラブ (66名)
介護予防拠点 (3名)

職員体制：10名 作業療法士1名、教諭1名、保育士2名、調理師1名、
管理栄養士1名、支援員4名

法人理念

いつも子どもが、地いきのまんなか

関連施設

医療法人 宇野医院、 デイサービス くつろぎ園
NPO法人 元気・なかま マナビハウス遊学カフェ

施設紹介

2013 年度から豊後大野市の指定管理を受け、すべての子どもが「地域の遊び場所」として、安心・安全な遊びや学びができる環境づくりをしています。また、一人ひとりの気持ちを大切に、子どもの育ちの支援、子育てしやすい家庭環境支援など、「みんなで子どもを育てて支え合う」地域や町づくりを目指した活動も行っています。

施設の取り組み

遊び×体験教室など通じて、気づく力・やり抜く力・他者を理解する力など、大人になるまでに体験してほしいこと、その体験から学んだ知識や技能など含めた経験を積み上げていけるよう協助しています。また、作業療法士で得た分野からも「子どもの育ちにくさ」「家庭環境での育てにくさ」を少しでも子育てが楽しくなれるようにも提案をしています。



施設外観



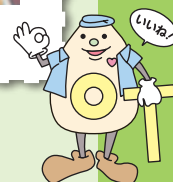
作業療法スタッフと利用者さん



鉋を使ってマイスプーン作り



子どもたちの1年間の様子



このほかにも、市町村や特別支援学校などからの依頼も増加しており、これからも子どもたちが地域ですくすくと成長できるよう、引き続きサポートしていきます。

作業療法士が
専門的な助言

放課後児童クを訪問



開業の難しさを向け、岡山、大塚、支援に、行動に
岡山や宮城県庁では作業士が特徴的な多様な対応に
法士がクラブを訪問指導し、ポイントなどを説明し、解
ている。それを参考に、大開答える。
分属でも黒川クラブ連絡が、黒川クラブ連絡協会の佐藤
異作業療法士法に協力依
頼した。
本年度は、岡市内にもあ
るクラブのうち1施設に作
業療法士さん何度か訪れた
。子この様子を撮影し



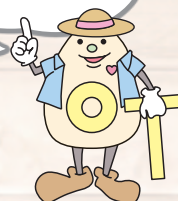
（池田美香）

▲ 大分合同新聞 2018年9月14日夕刊掲載



			2018年度		2019年度	
	市町村	事業	回数	述べ人数	回数	述べ人数
母子保健事業	豊後高田市	乳幼児精密検査	4回	8名	4回	8名
		にこにこ教室			2回	2名
	杵築市	発達支援教室 ぐんぐん	8回	16名	6回	12名
		巡回相談			2回	2名
		乳幼児健診 従事者研修会				
	由布市	親子教室(運動編)	6回	12名	6回	12名
	別府市	子どもの発達相談会	3回	6名	3回	6名

大分県の作業療法士は
こんなところでも
活躍しています!!



			2018年度		2019年度	
	学校	事業	回数	述べ人数	回数	述べ人数
特別支援 教育事業	宇佐支援学校	専門チーム助言	2回	4名		
	竹田支援学校	専門チーム委員			3回	1名
	由布市教育委員会	専門チーム委員			2回	2名

			2018年度		2019年度	
	市町村	事業	回数	述べ人数	回数	述べ人数
健全育成事業 放課後等	豊後大野市	訪問 コンサル	9回	18名	5回	10名

「作業療法というツール」

尾山 泰宏 (介護老人保健施設 いでゆの里)



私は、22歳のときにある一人の双極性感情障害(躁うつ病)の方と出会い、精神疾患を抱えた人に自分ができることは何か、そのために何が必要かを考え、26歳でリハビリの学校の門戸を叩いた。それまで接客業を営んでいた私にとって戸惑うことも多くあったが、今となってはかけがえのない経験として記憶に留めている。

卒業後、大分県内の精神科病院にて作業療法士として働いているうちに、目の前の患者さんや利用者さんにリハビリすることはもちろん一番大切な役割だが、そのリハビリを提供する人、される人がより安心安全で楽しく積極的に行える場・環境・組織を創ることに徐々に興味が沸いてきた。

そんな私は今、縁あって介護保険事業部(介護老人保健施設・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・訪問看護ステーション)の管理者として従事している。まだ半年程度ではあるものの、その短期間に幾度となく壁にぶつかり、一つ一つを不器用ながらも解決している最中である。

その中で、未熟な私なりに今更ながら気付いたことがある。それは、これまで作業療法士として学んできた作業療法の技術や考え方は、医療・介護・福祉・教育の現場はもちろん、経営管理であろうが、はたまた一般企業であろうが家庭であろうが、とても有用で有益であるということ。つまり、作業療法は目の前にいる一人の人(患者・職員・家族・隣人など)のQOL(生活の質)や、企業や法人の質を向上させる有能で実用的なツールだということである。

今、大分県では公益社団法人である当協会が県民の方々に様々な公益活動を展開し、大分県作業療法士連盟が国会議員から市町村議会議員まで幅広くアプローチし、作業療法という一つのツールの有用性、有益性を知ってもらうために日夜尽力している。そんな恵まれた環境下で私たち作業療法士は、作業療法というツールの使い方・活かし方をもっともっと広く深く学んでいく必要がありそうだ。

第22回大分県作業療法学会

開催日：平成31年1月20日(日) 9:50～17:00

場 所：J:COMホルトホール大分 3階 大会議室 他

テーマ：作業療法・道～つながる業、そして新たな挑戦(わざ)

内 容：①特別講演「作業療法の挑戦～過去・現在・未来～」

講師：太田 睦美(日本作業療法士協会監事/一般財団法人竹田健康財団)

②特別企画「挑戦！未来を見据えて～行政職員として～」

講師：國政 和子(日田市役所)

③トピックス「高まる作業療法士への期待～発達支援のいま～」

講師：永松 謙一(博愛病院)

④演題発表

⑤企業展示4社

参加者：176名

生活行為向上マネジメント アドバンス研修会

開催日：平成31年2月9日(土) 13:30～16:45

場 所：J:COMホルトホール大分 201・202会議室

内 容：もっと活かそう！生活行為向上マネジメント

講 師：大庭 潤平(日本作業療法士協会MTDLP推進担当理事/神戸学院大学)

参加者：30名

市民公開講座

開催日：平成31年2月11日(月) 15:00～18:00

場 所：J:COMホルトホール大分 3階 大会議室

テーマ：認知症になっても住みよいまちってどんなまち？

内 容：①認知症の人と家族が望むまちづくりとは

講師：三浦 恵子((公社)認知症の人と家族の会大分県支部世話人)

②認知症の人が住みやすいまちづくりとは

講師：鎌田 大啓(株式会社TRAPE-トラピ-代表取締役/作業療法士)

③おっいてーカフェ

参加者：37名

第2回日田リハビリサミット(運営協力)

開催日：平成31年2月15日(金) 18:00～20:00

場 所：パトリア日田 小ホール

内 容：シンポジウム、講演会

参加者：67名

事例検討会Ⅱ

開催日：平成31年2月19日(火) 19:15～21:00

場 所：大分県作業療法協会ビル

内 容：事例検討

ファシリテーター：佐藤 友美(常務理事/湯布院病院)

大田 繁(湯布院病院)

山本 貴美(湯布院病院)

真田 康孝(コスモス病院)

参加者：11名

作業療法実践セミナー

開催日：平成31年3月10日(日) 10:00～12:30

場 所：コンパルホール 400会議室

テーマ：退院支援の今～地域共生社会における精神科
作業療法の現状と課題～

内 容：指定発表、模擬事例検討・グループワーク、座談会

コーディネーター：清永 瞳(大分大学医学部附属病院)

シンポジスト：安部 俊輔(大分丘の上病院)

山本 正修(鶴見台病院)

今村 圭祐(河村クリニック)

伊藤瑛里子(衛藤病院 精神保健福祉士)

参加者：30名

認知症アップデート研修会(報告会)

開催日：平成31年3月17日(日) 9:30～12:00

場 所：大南公民館2階 和室

内 容：Good Practice sheetを使用した認知症支援実践報告と
グループワーク

報告者：甲斐 公規(国東市民病院)

江畠 由紀(湯布院病院)

野田絵里加(コスモス病院)

森 剛正(南海医療センター)

ファシリテーター：矢野 豊久(明和記念病院)

品矢 浩太(南海医療センター)

七郎丸 恵(コスモス病院)

菊池由加理(大分記念病院)

参加者：11名

**市町村等の発達支援事業に係る事業に資する
人材育成研修会(基礎編)**

開催日：平成31年4月21日(日) 10:00～12:00

場 所：J:COMホルトホール大分 409会議室

内 容：発達支援に関わる制度の概要と地域における
作業療法士の役割

講 師：高森 聖人(会長/空色)

参加者：29名

開催日：平成31年4月21日(日) 13:00～16:00

場 所：J:COMホルトホール大分 409会議室

内 容：子どもを評価するための基礎知識の整理
～粗大・協調運動の発達

講 師：後藤 英子(常務理事/大分リハビリテーション専門学校)

参加者：30名

開催日：令和元年5月12日(日) 10:00～12:00

場 所：J:COMホルトホール大分 409会議室

内 容：母子保健事業の概要と作業療法士の役割について

講 師：永松 謙一(博愛病院)

参加者：30名

開催日：令和元年5月12日(日) 13:00～16:00
場 所：J:COMホルトホール大分 409会議室
内 容：子どもを評価するための基礎知識の整理
～認知・心理・社会性の発達
講 師：兒玉 敬祐(恵の聖母の家)
参加者：28名

作業療法ミニフェスタin城下カレイ祭り

開催日：令和元年5月11日(土) 9:30～15:30
場 所：日出小学校グラウンド
内 容：作業療法体験(くす玉、ペーパーフラワー、ゲーム等)、
障害者疑似体験、福祉用具体験、脳トレ
参加者：約300名

新卒者研修会

開催日：令和元年5月19日(日) 9:40～16:00
場 所：J:COMホルトホール大分 302・303会議室
内 容：①日本作業療法士協会ならびに大分県作業療法協会の
職能団体としての役割と活動の方向性について
講師：高森 聖人(会長/株式会社空色)
②大分県作業療法協会の組織について
講師：藤原 一(常務理事/藤華医療技術専門学校)
③作業療法士の職業倫理
講師：衛藤 博文(有識者理事)
参加者：71名

現職者共通研修Ⅰ

開催日：令和元年6月2日(日) 9:30～11:00
場 所：大分東部公民館 大会議室A
内 容：作業療法生涯教育概論
講 師：山崎 翔太(明野中央病院)
参加者：26名

職場の安全管理研修会 ～未然に防ぐインシデント～

開催日：令和元年6月2日(日) 11:10～13:10
場 所：大分東部公民館 大会議室A
内 容：リスク管理についての講義・グループワーク
講 師：日隈 武治(副会長/大分リハビリテーション専門学校)
参加者：22名

ジョブカフェおおいた 職業人講話

開催日：令和元年6月24日(月) 15:20～16:10
場 所：大分県立別府鶴見丘高等学校
内 容：作業療法士の仕事内容に関する講義
派遣者：小野 綾華(博愛病院)
奥谷 恵(大分リハビリテーション病院)
参加者：18名

現職者共通研修Ⅱ

開催日：令和元年6月18日(火) 19:30～21:00
場 所：J:COMホルトホール大分 409会議室
内 容：作業療法における協業・後輩育成
講 師：後藤 宏子(加藤病院)
参加者：61名

認知症アップデート研修会(基礎編)

開催日：令和元年6月30日(日) 9:30～12:00
場 所：コンパルホール 304会議室
内 容：①認知症の方を取り巻く現状と課題
講師：真田 康孝(コスモス病院)
②認知症を理解する
講師：七朗丸 恵(コスモス病院)
③認知症の方への支援のあり方
講師：佐藤 友美(常務理事/湯布院病院)
参加者：47名(会員42名、他職種5名)



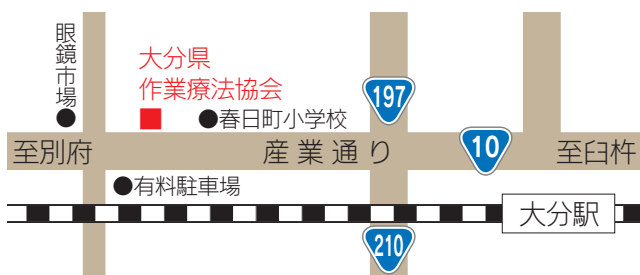


作業療法士は、

そのひとの人生が生き生きとしたものとなるよう、仕事、遊びなどの日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、こころとからだを元気にするリハビリテーションの専門職です。



リハビリテーションのことや、作業療法
のことで分からなかったり、お困りのこ
とがありましたら、右記までご連絡くだ
さい。



公益社団法人 大分県作業療法協会

〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル

TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663

<http://www.oita-ot.com>